

第 11 回自給農耕ゼミ（佐野川）開催のお知らせ

在来雑穀の栽培法を学び、栽培者を増やして、絶滅寸前の栽培現況を改善し、遺存的栽培地を結ぶ雑穀街道を FAO 世界農業遺産に申請して、互いに励まし合いながら、山村において生物文化多様性を現地保全する活動です。

○ 日時：10月2日（日）9：00～15：00 予定、天候により変更有

○ 場所：神奈川県相模原市緑区の旧佐野川村上岩

○ プログラム：

話題：アワの穂刈による収穫作業。とても良い穂が出ています（写真）。

話者：宮本透、木俣美樹男（雑穀街道普及会）

内容：雑穀栽培の基礎技能を学ぶ。山間地の畑で栽培する雑穀は穂刈で収穫することが多いです。キビとソバは75日と言われてきたように、成熟が早いです。栽培の手引きを差し上げます。キビは9月12日に脱穀しました（約10kg）。キビ穀粒で、国際雑穀年記念発泡酒（クラフトビール）をジャズブルーイング藤野で醸していただきます。

集合場所：上野原駅バス停 8：30、または自動車の場合は現地近くの石楯尾神社前に 9：00。

○ 協催： NPO 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館、雑穀街道普及会

○ 申込み連絡先：kibi20kijin@yahoo.co.jp 木俣美樹男（雑穀普及会事務担当幹事）
参加費は不要、寄付は歓迎。

*このゼミの動画、話題資料などは、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、互いに体験と知識など学び合う環境学習市民連合大学の下記サイトで一般公開します。

<http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

○交通案内： JR 中央線／上野原駅からバスがある。

電車 <行き>上野原駅 甲府方面から 7：59 着。東京方面から 8：25 着

<帰り>上野原駅 甲府方面へ 15：59 発。東京方面へ 16：01 発

バス <行き>上野原駅 8：35 発、石楯尾神社前 8：55 着。

<帰り>石楯尾神社前 15：31 発、上野原駅 15：53 着。

駐車、更衣など施設 佐野川にある石楯尾神社、公民館



写真：奥が登熟中のアワ、手前は収穫したキビの刈り跡、左右は雑穀見本、彼岸花も咲き始めました。2022.9.12

雑穀街道普及会は関東山地南部地域農山村の小規模家族農耕によって伝承保全されてきた雑穀他の生物文化多様性を継承するための普及啓発活動を行い、あわせて FAO 世界農業遺産に登録申請の準備をすることを目的としている。2023 年は国際雑穀年です。

環境学習市民連合大学は環境学習の理論と実践を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作っています。環境学習・保全 NP04 団体と 3 個人から出発した市民大学です。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。ヨーロッパの 12 世紀ルネサンスの先駆けとなった原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。教師も学生も互いに学びの自由を守護し合い、共助していました。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。どなたでも、学び合いたい人々が自由に集まるのです。今この時に、人生における学ぶ意味について改めて考え直したいです。この市民大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加（リンクなど）を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。最近の録画、話題資料メモは上記サイトにあります。